

病棟業務に必要な能力開発実践研修会

～臨床検査を行なうために必要な前工程の集中型能力向上トレーニング～

生涯教育研修制度 : 基礎教科 30 点

テーマ	現場で求められる能力への具体的対応	
目的	テーマの通り、現場で求められる能力に対応できる人材の育成。病棟業務について具体的業務内容を総合的に研修し、習得してもらうことを目的としている。 本講習会は実技習得を目的とし、シミュレータを用いた少人数制で行なう。	
会期	平成 29 年 7 月 29 日 (土)・30 日 (日) 9 時 30 分 ～ 16 時 20 分	
案内	全 4 回 (多職種連携・検査前工程・検査工程・検査後工程) におけるシリーズ企画の第 2 回となります。	
会場	医療研修施設「ニプロ i-MEP (アイメップ)」 TEL:077-564-0610	
内容	<p style="text-align: right;">内容・講師等について変更となる場合があります (敬称略)</p> <p>1 日目</p> <p>9:30～9:50 受付</p> <p>9:50～10:00 開講挨拶 日臨技 副会長 横地 常広</p> <p>10:00～10:30 病棟業務に必要な法的知識 日臨技 常務理事 丸田 秀夫 (佐世保中央病院)</p> <p>10:30～11:00 安全な医療を提供するための具体的な取組に向けて ～鼻腔咽頭・肛門・皮膚からの検体採取業務～ 日臨技 執行理事 千葉 正志 (帝京大学)</p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>11:10～12:40 実技訓練Ⅰ ～検査説明・相談①～ 検査前における患者への検査説明・相談 日臨技 理事 實原 正明 (飯田市立病院)</p> <p>12:40～13:40 昼休み</p> <p>13:40～15:10 実技訓練Ⅱ ～認知症患者対応①～ 病棟における認知症患者への対応 日臨技 政策調査部門 担当理事 深澤 恵治 (群馬中央病院)</p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>15:20～17:20 実技訓練Ⅲ ～事例ごとの患者対応コミュニケーション～ 臨床看護に臨む姿勢と病棟における状況に応じたコミュニケーション 株式会社 イーアドバンス 代表取締役社長 中森 利一 日本看護師コーチング協会 轟 由子</p> <p style="text-align: center;">(休憩 10 分)</p> <p>17:30～18:50 ナイトセミナー ～お食事、お酒と共に・・・～ ※集合写真撮影も行います 企画Ⅰ より患者の寄り添うために ～日臨技医療政策企画の今後の方向性について～ 日臨技 政策調査部門 担当理事 深澤 恵治 (群馬中央病院) 企画Ⅱ 多職種連携のための 1 考え方「業務包括化メソッド」 日臨技 代表副会長 横地 常広</p> <p>2 日目</p> <p>9:00～10:00 鼻腔・咽頭の構造と採取法 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 講師 任 智美 (休憩 15 分)</p> <p>10:15～11:15 皮膚症状ごとの皮膚・表在組織構造と採取法 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科皮膚科学 准教授 田中 暁生</p> <p>11:15～11:45 肛門とその周囲及び下部消化管の構造と検査法 名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室 講師 久保田 英嗣</p> <p>11:45～12:45 昼休み</p>	

	12：45～16：00 実技訓練Ⅳ ～検体採取～ ※事務局にて3グループに振り分け行ないます。 (休憩 ローテーション時適宜取得) (60分) 鼻腔・咽頭からの検体採取 ～感染管理・検体搬送も含めて～ 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 講師 任 智美 (60分) 皮膚・表在からの検体採取 ～皮膚科領域の感染管理・検体搬送も含めて～ 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科皮膚科学 准教授 田中 暁生 (60分) 肛門からの検体採取 ～皮膚科領域の感染管理・検体搬送も含めて～ 名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室 講師 久保田 英嗣 16：00～16：20 閉講式
募集人員	最大 51 名
募集対象	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員 (検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の修了者であること)
受講料	12,000 円 (ナイトセミナー代を含む)
申込締切	平成 29 年 7 月 16 日 (日) ※参加費振込締切 平成 29 年 7 月 19 日 (水)
申込要領	*WEB からの事前受付 会員専用ページ ⇒ 生涯教育 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技または支部 講習会を選択 ⇒ 事前登録
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北 4 丁目 10 番 7 号 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-5767-5541
キャンセル待ち	申込み枠を超えた場合、キャンセル待ちを受け付けます。申し込みは電話 03-5767-5541 へ直接ご連絡をお願い致します。受講可能者には 24 日 (月) までに事務局よりご連絡をいたします。
必須事項	受講申請者は、「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」の修了証書の写しを平成 29 年 7 月 19 日 (水) までに事務局へご郵送または FAX にてお送りください。修了証の確認が取れない場合、実技訓練の受講はできませんので早い段階での郵送をお願いします。
持参備品	講習は常に白衣で行います。更衣室を用意しておりますので、自施設で使用している白衣 (ケーシー等) 一式をご持参ください。
宿泊	事前予約制で 7 月 28 (金)、29 日 (土) の受講者人数分確保してあります。利用には別途申し込みが必要です。平成 29 年 7 月 16 日 (水) までに下記 FAX をお願いします。
主催	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

宿泊の申し込みは、以下へお送りください。(事務局 政策調査課 : 板橋)

FAX : 03-3768-6722

お名前	
宿泊申込み日程	7 月 28 日 (金) ・ 7 月 29 日 (土)
日中の連絡先	TEL : E-mail :
宿泊の条件	宿泊部屋は、禁煙・喫煙 / 朝食は、必要・不要

※宿泊費のご清算はチェックイン時となります。

※3 日前からの変更・キャンセルのお問合せは、アーバンホテル (TEL : 077-561-0606) をお願いします。

尚、宿泊キャンセルは前日より 20%がかかりますのでご注意ください。ようお願い申し上げます。

